

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年7月17日(2008.7.17)

【公開番号】特開2007-7235(P2007-7235A)

【公開日】平成19年1月18日(2007.1.18)

【年通号数】公開・登録公報2007-002

【出願番号】特願2005-193434(P2005-193434)

【国際特許分類】

A 4 7 F 10/02 (2006.01)

B 6 5 D 43/02 (2006.01)

B 6 5 D 25/16 (2006.01)

B 6 5 D 81/38 (2006.01)

B 6 5 D 25/34 (2006.01)

【F I】

A 4 7 F 10/02

B 6 5 D 43/02 C

B 6 5 D 25/16

B 6 5 D 81/38 R

B 6 5 D 25/34 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月28日(2008.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

上方に向かって矩形に開口した買物籠に装着する開口部カバーであって、断熱性布からなり柔軟性のあるカバー本体と、該カバー本体の一端部（固定端部）を前記買物籠の開口部の一端付近に固定維持するカバー本体装着手段と、前記開口部を前記カバー本体で覆うため、前記カバー本体の他端部（自由端部）を前記開口部の他端付近に係止する開口部覆設係止手段と、該開口部覆設係止手段の係止を外した状態で、前記カバー本体の買物籠当接面が内向きに湾屈する方向から、前記カバー本体の自由端部を固定端部付近に係止するカバー両端部係止手段とを備え、該カバー両端部係止手段の係止を行うに際して、前記カバー本体の自由端部を固定端部側の前記買物籠側方に引き出して前記カバー本体の買物籠当接面が上方を向いた状態から、前記カバー本体の自由端部を固定端部付近に係止することで、柔軟性のある前記カバー本体を中央部から折り返した状態で前記買物籠側方に垂下するように構成した開口部カバー。

【請求項 2】

中央部から折り返した状態で買物籠の側方に垂下したカバー本体を、カバー本体と対面する買物籠の外側面に係止する第 1 の垂下カバー係止手段を備える請求項 1 記載の開口部カバー。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 記載の開口部カバーを装着したカバー付き買物籠。